

事務事業名	診療事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	医事課	医事・入院係	飛田 幸人

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標		いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法			
		地方公営企業法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
治療を必要とする患者			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）	
		事業費	9,386,793	8,957,053	9,816,065	
		人件費	48,364	58,893	58,893	
目 的		総事業費	9,435,157	9,015,946	9,874,958	
疾病の治療を行います。		3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金			0	
手段、手法【実施手法：直営】 市立病院の人材・機器等の医療資源を用いて良質かつ適切な治療を行います。		県支出金			0	
		市債			0	
		その他			9,816,065	
		一般財源			0	
		合 計			9,816,065	
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	入院収益			単位	千円
	内容説明	入院患者数×診療単価				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	6,959,230	6,452,000	5,483,786	
		実 績	6,451,148	5,483,786	－ － －	
活動指標 2	名称	外来収益			単位	千円
	内容説明	外来患者数×診療単価				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	3,684,422	3,374,000	3,187,418	
		実 績	3,373,474	3,187,418	－ － －	
活動指標 3	名称	公費等対象患者届出業務			単位	件
	内容説明	県等への届出・継続書類作成・登録件数				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定	420	620	281	
		実 績	616	281	－ － －	
課 題	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度	
		予 定				
		実 績			－ － －	
地域の基幹病院として求められる医療の提供が支障なくできるよう収益を確保します。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度 Ⅰ：現状のまま継続
	自動精算機及び医事業務委託（充実）を導入し業務の効率化を図ります。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	2次医療機関である地域の拠点病院として機能しているため。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	地域の拠点病院としての役割を遂行するためには、日々、柔軟な対応が求められるため。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	A：経費は適正な水準である。
	B	B	A	自動精算機の導入や委託の拡大を行って効率化を図ったため。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	適切な医療費計算事務を行っているため。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	情報提供に積極的に取り組んでいるため。

事務事業名	保健衛生事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	医事課	医事・入院係	飛田 幸人

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標		いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法			
		地方公営企業法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
大和市及び近隣住民			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
		事業費	172,314	169,598	186,142
		人件費	5,180	3,716	3,716
目 的		総事業費	177,494	173,314	189,858
疾病の早期発見、予防及び健康増進を図ります。		3年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 疾病予防、保健指導等の広報活動を行います。 市民等を対象とする講演会等を開催します。			県支出金		0
			市債		0
			その他		186,142
			一般財源		0
			合 計		186,142
3. 活動内容					
活動指標1	名称	脳ドック受診者数			単位 人
	内容説明	脳ドックの受診者数			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	60	40	20
		実 績	32	20	――
活動指標2	名称	各種健康診査業務			単位 人
	内容説明	乳がん・子宮がん・小児等各種健診の受診者数			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	8,000	7,200	6,000
		実 績	7,199	5,934	――
活動指標3	名称	各種予防接種業務			単位 人
	内容説明	各種予防接種の接種者数			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	700	700	550
		実 績	674	546	――
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等						
今後の方針等	30年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅰ：現状のまま継続
	業務の委託化を行い効率化を図ります。					
	【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					